



京放技ニュース

9 / 2024
(通算772号)

発行：(公社)京都府診療放射線技師会 TEL&FAX. 075-802-0082 E-mail: kyohogi@mbox.kyoto-inet.or.jp
ホームページアドレス http://www.kyohogi.jp/

〒604-8472 京都市中京区西ノ京北壺井町 88-1 二条プラザ

振込郵便口座 01070-3-11019

ゆうちょ銀行 店名(店番) 109 当座 0011019 シャ) キョウトフホウシャセンギシカイ

公益
社団法人 京都府診療放射線技師会

変わらないこと

公益社団法人 京都府診療放射線技師会
財務理事 森 吉修

少し前、『不適切にもほどがある!』というテレビドラマがありました。結構話題になったので、ご覧になった方も多いのではないかと思います。「あなたも観た方がいい」と妻から言われ、数回観ました。内容は、ダメおやじの主人公が昭和から令和にタイムスリップしてしまい、いろんなギャップからハチャメチャな騒動を起こしつつもあらためて人間関係の本質を見直す、というものだったと理解しています。令和の現在では考えられない次元の、パワハラ・セクハラ・モラハラ・マタハラなど、あらゆるハラスメントが横行していた昭和のシーンが再現されていました。もちろんドラマですから、誇張し面白おかしく表現されているのですが、それを差っ引いても、こんなぐらいはあったよなあと思う部分もたくさんありました。

私が診療放射線技師になったのは平成2年です。バブル景気の絶頂期に学生時代を過ごし、就職してほどなく崩壊した世代です。昭和の雰囲気は色濃く残っており、入職歓迎会では一芸が必須、忘年会では余興に強制参加、慰安旅行のバスでは一番にカラオケを唄わされるなど、若者が場を盛り上げることは当たり前でした。仕事面では、一発勝負の撮影でフィルムの濃度が合わず大声でどやされたり(AUTOタイマーは胸部のみで、体型から感覚で撮影条件を合わせていました)、3DCTでうまく描出されていないと出来るまで帰れなかったりと(当時の再構成時間は恐ろしく遅かった)、今の技術の進歩からは考えられないですが、「これぐらいの苦労(圧力?)は若い者には当然だ」というものが根底にあった時代でした。そんな時代でしたが、若者はそれに負けずに一生懸命仕事をしていました。確かにプライベートの時間は少なかったかもしれませんが、でも仕事とプライベートが曖昧で、先輩や上司と時間を共有することが多く、それがゆえに今で云う心理的安全性が保たれていた気がします。これはドラマの中にも描かれていましたが、ちょっとお節介気味にプライベートを共有することで、相手のことを知って自分の意見を伝えることができていたのだと思います。

さて、このような昔話をして、昔はよかったと言いたいわけではありません。ましてや昔のような環境に戻したらなどは少しも思いません。現在の方が多様性を尊重し、いろいろな経験をした結果、成熟した社会になっているのだと認識しています。

でも変わらないことはあると思っています。それは、若者は一生懸命仕事(活動)をして、先輩・老輩はそれを助け見守ってあげるということです。技術が進歩した分、今は昔よりもよっぽど難しいことをしていて、いろんなことを考えなくてはいけなくなっています。経験を積んだものでさえそうなのですから、若者はもっと大変なはずです。先輩・老輩はしっかりと若者をバックアップしてあげてください。そして若者も一生懸命仕事をしてください。将来バックアップできる人に成らなくてはいけないのですから。

偉そうなことを書きましたが、最後に、なぜ妻から「あなたも観た方がいい」と言われたか、反省しようと思います。

地区理事就任のご挨拶

北地区理事 足高 卓也

北地区理事を拝命いたしました、西陣病院の足高と申します。

北地区会員の皆様並びに、京都府診療放射線技師会の皆様、2年間という短い任期ではございますが、何卒よろしくお願い致します。

私自身技師会活動は初めての経験で、右も左もわかりませんが、誠心誠意努めていきたい所存であります。至らぬ点も多いかと思いますが会と会員の皆様を精一杯紡いでいきたいと存じます。

コロナ禍では Web セミナーが盛んとなり、様々な地域、団体の研究会等を受講することが可能になりました。これは大きな利点であることは間違いありませんが、動もすると受け身がちで、情報交換といった点では弱い点があります。

新型コロナウイルスの5類変更に伴い、徐々にコロナ禍前の活動に戻りつつある昨今です。最近で言う『対面式』の技師会の様々な活動に参加いただくことで、各種施設の生の声が聴けますので、ベテラン、中堅、若手それぞれニーズのある意見交換ができると考えております。会員の皆様ご参加、お力添え是非ともお願い致します。

中地区理事 藤川 優志

令和6・7年度の中地区理事を務めさせていただく事となりました、洛和会丸太町病院の藤川と申します。技師会活動は初めてで、不慣れで行き届かないところがあるとは思いますが、地区委員の皆様の協力のもと、中地区会員の皆様と技師会との橋渡しが出来よう精一杯努めさせていただきます。

他施設の皆様と話すきっかけが出来る技師会活動は自分にとってもスキルアップ出来る良い機会をいただけたと思っております。来年度からは静脈注射が行える新卒者が入職してくるようになります。中地区は会員数が減少してはいますが、技術格差を生じさせない為にも周りの告示研修未受講の技師の技師会入会を促し、会員を増やしていきたい所存です。皆様の周りにもおられましたら是非お声掛け下さい。これから2年間、何卒よろしくお願い致します。

東地区理事 寺崎 圭

京都大学医学部附属病院の寺崎と申します。この度、令和6・7年度の京都府診療放射線技師会東地区理事を拝命しました。10年前に診療放射線技師としてのキャリアをスタートさせ、大学院に通いながら整形外科から在宅医療まで、さまざまな現場で経験を積んでまいりました。現在は京都大学医学部附属病院で主に CT 検査に従事しております。

今期の目標は、地区会員の皆様との相互的な連絡方法の確立です。現在はメーリングリストを用いて、地区理事・地区委員から各会員へ一方的な形で情報発信をしております。しかし、スマートフォン普及率が97%（NTTドコモモバイル社会研究所調べ）に達している昨今、情報共有を相互的にできる SNS が一般的に活用されています。私は、情報共有や意見交換が円滑に行える環境を整備し、地区全体の連携強化を目指します。これ

までの経験と知識を最大限に活かし、会員の皆様に貢献できるよう努めてまいりますので、皆様のご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

西地区理事 丸山 久喜

この度、令和6・7年度西地区理事をさせていただきます向日回生病院の丸山です。今回で2期目となります。

世間では新型コロナウイルス感染症が5類になり徐々にメディアでも取り上げなくなりましたが感染者は減るどころか増えていると感じる今日この頃であります。

さて、私自身前期の令和4・5年度では西地区の会員様に向けた取り組みは殆どできておりませんでした。今期こそ地区委員の方と協力して技師会からの情報発信や西地区会員様との繋がりを強めていけるよう西地区メールマガジンを活用してまいります。何分不慣れで皆様にご迷惑をお掛けする事も多々あるかと思いますが会員様にとって有意義な情報を提供できるよう努めて参ります。どうぞよろしくお願い申し上げます。

南地区理事 杉原 哲雄

この度、前期に引き続き令和6・7年度の南地区理事を拝命することになりました。前期までは新型コロナウイルス感染症の影響で研修会など様々な活動に制限がありました。昨年からは制限も緩和され直接会場で会員の皆様にお会いできる研修も多く開催され始め技師会の活動がより活発になるよう期待しております。一方で、イベント参加者の少なさも感じています。これはアナウンス不足による事も要因であると反省し、より一層迅速な情報提供を心掛け努力してまいります。

南地区ではメーリングリスト運用を令和4年度より開始いたしましたが登録者数は、まだまだ少数に留まっています。是非登録していただき迅速な情報提供にご協力お願いいたします。

今年度で5年目の理事となりますが、この2年間を集大成と考え各役員の皆様と共に会員様の一助となるよう努めてまいりますので今後とも京都府診療放射線技師会運用にご理解いただきますようよろしくお願い申し上げます。

両丹地区理事 足立 卓也

この度令和6・7年度の両丹地区理事を拝命しました市立福知山市民病院の足立と申します。両丹地区は学術活動の盛んな地区ですが、コロナ禍では研修会等のWeb開催が続いていました。今年度は両丹地区夏季研修会をはじめ、対面での研修会も行い会員同士の交流を深めていきたいと考えております。歴代の地区理事が築いてこられたこの地区での活動を継承し、皆様から意見を承りながら、有意義な地区活動を行っていきたく思います。

会員の皆様にはご迷惑をお掛けすることもあるかと思いますがご協力を宜しくお願いいたします。

西南部地区理事 高田 春彦

西南部地区理事を拝命いたしました松下記念病院の高田春彦です。

西南部地区は京都府外にお勤めの皆様が該当します。滋賀県、大阪府、奈良県、兵庫県と広い範囲を担当しております。

範囲は広くとも SNS 等の IT 技術の進歩により情報は容易に伝えることができます。技師会からの最新情報を皆様にお届けすると共に、双方向のコミュニケーションを目指しております。

数年前の流行病で人の動きが止まった時期もありましたが、5類となった今は人の流れもほぼ元に戻りました。これまで集会形式で交流ができなかった分、オンラインと集会それぞれの良い所を活かして会員の皆様がより交流を深めていただきたいと思います。

まだまだ不勉強な所が多いと思いますがご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い致します。

監事就任のご挨拶

監事 轟 英彦

令和6・7年度、監事に就任いたしました京都府立医科大学の轟です。

今回で5期10年を迎えることになりました。前河本会長の8年間はコロナ禍で京都府診療放射線技師会の活動もいろいろな制約のある中で、様々な行事を Web 開催にするなどの新方式を取り入れてきました。今年度より久保田会長を中心とした組織の下、新たな気持ちで技師会活動を展開を模索していくと思います。やはり、会員同士のコミュニケーションは技師会活動のみならず、病院運営などにおいても非常に大切なことだと思います。

「信頼と感謝・・・そして未来へ」を再度心に刻み、これからの技師会が皆様のお役に立てるよう進んでいくことを微力ながら支えたいと思います。よろしくお願い致します。

監事 河本 勲則

令和6・7年度監事に就任しました、千春会病院河本です。

4期8年間の会長経験を活かし、診療放射線技師の地位向上と当会の発展に微力ながらお役に立てればと思っています。

新卒技師の入会促進と診療放射線技師法の一部改正による業務拡大が推進できる環境の構築を念頭に久保田新会長をはじめ執行部の皆様の良きアドバイザーとなり、事業運用や公益法人会計準拠についても指導、支援をしたいと考えています。また診療放射線技師が府民の皆様に安全で安心な医療の提供に努め、新時代の診療放射線技師の構築のために自己研鑽も忘れず取り組んで参りますので今後ともよろしくお願い致します。

全地区委員会報告

組織調査委員 鷹野 潤寛

6月30日(日曜日)14時より、京都府民総合交流プラザ 京都テルサ会議室をお借りして令和6年度全地区委員会が開催されました。参加者は三役および常務理事、常設委員、地区理事、地区委員、組織調査委員の計49名でした。コロナ禍以来2回目の開催の今回は、常設委員の参加もお願いしており、例年より多くの参加者の来場をいただきました。

初めに、久保田新会長よりご挨拶を頂戴し、会議が始まりました。本年度は、地区理事の交代の年である事から、各委員会紹介・委員長挨拶を行いました。対面での会議のよさを感じていただくために、ディスカッションを多くできるような構成を目指しました。0.チーム編成(地区毎) 1.アイスブレイク 2.ディスカッション① 3.休憩 4.チーム編成(委員毎) 5.ミニセミナー(タスクシフトに向けて) 6.ディスカッション② 7.ディスカッション③という流れで行いました。

アイスブレイクでは、ウソホント自己紹介を行いました。各チームで1人だけウソの自己紹介をしてもらいます。最後にウソの自己紹介をしたと思う人に対して一斉に指をさしてもらいます。我々のチームは7人中6人がホントの自己紹介をし、1人だけがウソの自己紹介をします。ウソカードを引いたのは幹事である私自身でした。嘘のつけない人間なのか、3人から指をさして頂き、万事休す。他のチームでは3名がウソをつき通したようです。その中には、新会長の姿もあったそうな。嘘を見破ろうと勘繰ってしつかりと人の話を聞いた印象でした。楽しかったので、良ければ他の研修会などで試してみてください。

ディスカッション①では、現状の地区委員会の開催について、話し合いました。会議の回数や、開催方法(Web、対面)がメインでした。Webの良さ、対面の良さがあるので、双方を有効に活用していただきたいと思います。

ミニセミナーでは、松下記念病院の竹井様よりタスクシフトへの取り組みについて発表をいただきました。静脈穿刺に向けたマニュアルの作成や、技師に対してアンケートを取りながら丁寧なロードマップを作成されている印象を受けました。因みに私が勤務しています京都第二赤十字病院では同様にマニュアルやロードマップの作成、準備を行なっている段階です。ディスカッション②では、タスクシフトの各施設の取り組みについて意見交換しました。各施設取り組み段階が様々で大変勉強になりました。こちらのセッションを終えて感じたことは、いかに告示研修を終えたとしても静脈穿刺までの道のりが険しいかということです。すべてがゼロベースで、1から作り上げていくことを各施設で行っております。技師会として、概要でよいのでマニュアル、ロードマップを示して頂けたら、より取り組みやすくなるのではないかと感じました。研修をして終わりではなく、その先の働きかけを今後期待したいです。

ディスカッション③では、各委員会で困っている事・改善したい事について、話し合いました。私たち、組織調査委員会として、改善したい事については、学遊会の参加人数を増やす事です。この中で、問題点として、学遊会だけではないが様々なイベントの広報が少ないという点が挙げられました。各委員が、様々なイベントに向けて時間を割いてくれているので、もっと皆さんに知ってもらい、参加を促す事が大事なのかなと感じました。

最後に、中川新副会長より総括の言葉を頂戴して会を終えることとなりました。

《緊急告知》という事で、この記事が最後まで読んでいただいた寛大なあなた、そう、そこのあなたです。今年の学遊会は参加してください！何をするかはまだ定かではありませんが、何かしらお酒が飲めて、景品付きゲームをする予定です(仮)。今後ともどうぞよろしくお願ひします。

Web セミナー（第 597 回研修会、会員限定）

学術委員会 中川 政幸

令和6年9月4日（水）

Web セミナー（Microsoft Teams）18:00～19:00（17:50より入室可能）

「弁護士に聞く！診療放射線技師のための法律相談

～医療事故と法的責任～」

講師：医療機関弁護士・医師 長谷部圭司 先生

日常臨床業務においてインシデントやトラブルまた思わぬ出来事で、初動がうまくできなかった、クレーム、訴えてやると言われた、損害を与えたかもしれない等、さまざまな対応があると思います。さらには業務拡大による新たなリスクも考えられます。

先日皆さまから頂戴した事象、質問について、医療機関弁護士にそれらの法律的な取り扱いをご教授いただくセミナーを企画しました。

貴重な機会ですので、どうぞご参加をよろしくお願いいたします。

参加方法

- ・下記のQRコードより参加登録を行っていただきます。（技師会ホームページにリンクあり）
- ・開催日前日になると、登録したメールアドレスに入室アドレスが届きます。
- ・開催時にアクセスして、会員番号、お名前を入力していただき、入室して下さい。
- ・参加時は各自のマイク、カメラはOFFにしていただき、質問はチャットにてお願いします

注意事項

- ・講演内容の撮影、録画、録音、二次使用を禁止いたします。
- ・Web開催の学術活動は会員限定にて開催します。
- ・Webでの学術活動は、Microsoft Teamsを使用するため予めアプリをPCにインストールしておいてください。（スマホからでも参加できます）
- ・今回参加登録すると、登録情報は令和6年度末まで有効です。次回開催時には参加登録しなくても、登録アドレスに参加方法が届きます。（令和5年度までの情報は一旦破棄しています）

Web セミナー申し込みサイト

<https://forms.gle/CrYyDuUQEYQ7Qoux9>

QRコード



～診療放射線技師法改正に伴う告示研修（実技）～ 近畿地区予定

実技研修申込には、

- ・基礎研修 700分（オンデマンド）
- ・Webでの確認試験の合格・修了が必修となります。

（基礎研修は会員の皆様におかれましては、受講料無料です）

8月31日・9月1日 滋賀県 滋賀医科大学 研修センター

10月12日・13日 大阪府 大阪府済生会中津病院

今後の京都府主催（予定）

令和7年

1月25日・26日 京都府立医科大学看護学舎

※満席の場合でも締切り直前に申し込める可能性がありますので、再度確認して下さい。

※受付開始日につきましては、2015年業務拡大に伴う統一講習会修了者は1週間前から先行予約可能です。

※詳細や申込みにつきましては、日本診療放射線技師会ホームページにてご確認下さい。

～8月以降の京放技活動～

9月4日（水）

Webセミナー、第597回研修会（医療機関弁護士によるセミナー）

9月6日（金）

KYOTO 診療放射線技師 納涼会

～理事会承認・報告事項～

8月は理事会休会のため、承認・報告事項なし

▶現在の会員異動等、集計

【会員数】620名(6月から+6名)

(名誉会員3名・正会員596名・賛助会員21社)

増員 新卒入会3名、新入会3名、転入会1名【計7名】

減員 物故者1名【計1名】

※令和6年度新入会累計15名(再入会0名含む・転入会は含まず)

※8月は理事会休会で承認未のため前月同様

求人のお知らせ

- ・京都市 山科区の病院で「正規職員」の採用募集があります。
詳しくは京放技事務所までお問い合わせ下さい。

編集後記

編集委員の村上雅之(むらかみ まさゆき)です。今回、初めて編集後記を担当することになりました。どうぞよろしく願いいたします。

私が勤務する京都大学医学部附属病院は、明治32年(1899年)12月に京都帝国大学医科大学附属医院として開設され、令和6年(2024年)12月で125周年を迎えます。京大病院のホームページ内に125周年記念サイトが設けられています。記念事業として市民公開講座が開催されます。9月、10月開催分の申し込みは締め切られましたが、11月3日(日)開催分はニュースがお手元に届く時には、申し込み受付が開始されていることと思います。ご興味がございましたら、ご参加ください。

まだまだ、暑い日が続きますが、どうぞご自愛ください。

編集委員 村上 雅之